

Color Us Project

「VUCA の時代を生き抜く」



福島県国際交流協会の人材育成プロジェクト

「Color us project」は…「人を幸せにする、地域(福島)に貢献する」

人材育成をおこないます。

CONCEPT

言語・文化・価値観の違いを乗り越えて、国の違いに阻まれることなく最大限のパフォーマンスを発揮できる人材育成に取り組んでいます。また VUCA の時代を生き抜く力を身につけることも重視し、福島県内の学生（高校生、大学生、短大生、専門学校生）を対象に人材育成コースを開催しています。



WHAT WE DO?

このプログラムは自らが考え、掲げた目標に到達するためのツールを探し、身に付けられるよう努力していくという設定になっております。学生が「型にはまったものを学ぶ」のではなく、様々な体験を経て、知識を蓄え、「何が自分にとって必要なのか？」を考え、時には取捨選択し、成長していく、そのような斬新なプログラムとなっています。

Field Trip

プログラムでは定期的にフィールドトリップを行っています。伝承館（双葉町）をはじめ JICA 二本松訓練所、富士通テクノロジーホール（川崎市）を訪問しました。またカラプロ生の中から選抜しオーストラリアのケアンズにて研修を行いました（日本領事館へ表敬訪問の写真）

フィールドトリップは非常に大切な学びの場となっています。



PROGRAM

3部構成となっています。

- 1st ステージ (9月～12月)「福島を知る、自分を知る」
- 2nd ステージ (1月～4月)「多様性と向き合う」
- 3rd ステージ (5月～8月)「国内外研修に向けて」「イベントを成功させる」

月ごとにテーマを設定し、「自分の目で見ると、知る、自分で考える」ことに重きをおいた講義を提供しています。必要に応じてフィールドトリップやゲストスピーカーによる講演も行って参ります。またディスカッションや成果発表会など、自分の意見を発信する機会を頻繁に設けていきたいと考えております。

COMMUNICATION SKILLS

多様化が進む日本にてコミュニケーションスキルは大切なツールとなります。自分の意見や考えを伝えることの重要性は増えています。中でも英語で聞く、話すことの需要は高まっていると考えられます。今回のプログラムに参加している学生の皆さんは基本的な英語のスキルは持ち合わせています。しかしながら英語を使う機会が非常に少ないことも事実のようです。

カラプロでは英語で聞く、話す環境を提供するため英語でのディスカッションイベントを定期的で開催しています。



Anthony Gillan's “English Encounters”

国際交流員／Coordinator for International Relations

“English Encounters”は福島県をはじめ各市町村で活躍している国際交流員のメンバーが協力し合い福島の学生の皆さんに世界の情報を発信すると同時に英語で話せる機会を設けることを目的としたトークイベントです。

福島県国際交流協会では福島県の学生の皆さんにこのチャンスを提供し、これからの福島を若い力と国際交流で盛り上げていくことをテーマとし、“English Encounters”を開催していきます。

<https://www.color-us-pro.com>

WHAT WE DID (2022-2023 1 期生)

参加者：高校生 10 名・大学生 6 名・短大生 3 名・専門学生 3 名

(福島市・会津若松市・郡山市からの参加)

研修：

- ① 伝承館訪問、高村昇館長からの特別講座の聴講
- ② JICA 二本松訓練所訪問
- ③ Fujitsu Technology Hall 訪問
- ④ 海外研修 2023年8月オーストラリア、ケアンズ渡航

特別講義：

- ① 社会福祉法人つばさ福祉会 県北障害者就業・生活支援センター
五島勉さんによる福島県の障がい者就業の現状に関する講義を開催
- ② (株) オーナー
佐々木敦斗さんが「行動すること」、「探求」をテーマに講義を開催
- ③ (株) オーダーメイドジャパン
福島で活躍する中野友登さんが「福島について」、「起業」をテーマに講義を開催

講演会：

- ① 「震災そして復興…これからの10年でふくしまに必要なこと」
天野和彦先生(福島大学地域未来デザインセンター)及び
八島妃彩さん(浪江まち物語つたえ隊)を迎え、講演会+ディスカッション
- ② 富士通株式会社シニアエバンジェリスト松本国一さんによる「デジタル先進国に学ぶDX」を開催

発表会：

- ① 「10年後の福島にあなたができること」をテーマに各参加者による発表会を実施、
後半は各市町村で活躍している国際交流員とディスカッションイベントを開催(「障がい者と社会の関わり」を各国の視点で考える)
- ② 「福島の地域活性化」をテーマに学生の視点を生かした起業シミュレーション発表会
を実施

イベント：

- ① ニューージーランドとライブ配信(伝承する意味と意義について)
- ② ”English Encounters” をスタート(2023年2月より)

WORKING GROUP



Sakura no Seibo Junior College
桜の聖母短期大学



Fukushima-BASE



magazine & web

aruku

Owner



F.I.F.A

(クラブロは福島市との共催です)